

第8回 鴻東村民体育レクリエーション大会

家族ぐるみ、部落ぐるみで参加下さい

午前九時より各部落ごとに堂々の入場行進開会式

午前の部

- 一、ラジオ体操第一 参加者全員
- 二、プラスチックバンド演奏 西小学校生徒
- 三、宝さがしレース 消防団・青年団
- 四、たばこレース 婦人部
- 五、つなひき 西部保育所
- 六、遊戯 (公民館長杯) 部
- 七、障害物リレー 消防団・青年団・婦人会
- 八、むかで競走
- 九、パン食い競走 (鴻東村議長杯) 部
- 十、総代三役リレー (鴻東村議長杯) 部
- 十一、女子三〇〇米リレー (鴻東村議長杯) 部

◎ひる休みは婦人会を中心にして

みんなで民踊を

午後の部

- 一、親子なかよしレース 部
- 二、体力測定レース 部
- 三、のんびり競走 部
- 四、土のう運搬リレー (消防団長杯) 消防団
- 五、ざる引き競走 老人クラブ
- 六、仲よし玉おくり 婦人部
- 七、アベックレース 職場、団体
- 八、職場、団体対抗リレー 米場、団体
- 九、宝つりレース 米場、団体
- 十、小・中学生リレー 小(中)生徒
- 十一、男子三〇〇米リレー (県知事杯) 部落

◎にぎやかな応援を期待しています。

◎村中そろって楽しい一日を過ごして下さい。

鴻東村公民館

保険料納め忘れのないように……

十月は第二期国民年金保険料と一年前納の保険料の納入月です。忘れずに納めて下さい。

各種村民大会の成績

鴻東村婦人バレーボール大会	三位 五之上チーム
とき 七月二十二日(日)	
ところ 鴻東中学校	
一位 井随Aチーム	野球の部
二位 井随Bチーム	三位 五之上クラブ
三位 新生チーム	二位 竹内建村チーム
一位 知八郎チーム	三位 鴻東役場チーム
二位 島方チーム	一位 国見チーム
三位 島方チーム	二位 番屋チーム
	三位 鴻東中学校チーム

公給領収証を

受けとりましょう

区 分	免税点
料理店、小料理店、カフェ、バー、キャバレー等	なし
①宿泊者の夜食、間食 ③宿泊者の昼食 ④休憩及び飲食	1人1泊2,400円
旅館	1人1泊1,200円
飲食店、喫茶店等	1人1回1,200円
経理区分食堂(デパートの食堂等)	1品 600円
仕出し	1人前 1,200円

以上、財務事務所より

軽自動車の検査のお知らせ

◎昭和48年10月1日から軽自動車の検査が始まることになりました。検査は次のところで行ないます。

新潟市大形本町117番の2
軽自動車検査協会 新潟主管事務所
(問い合わせ先 TEL(0252)75-5845)

◎現在ナンバーをつけて使っている軽自動車の検査を受ける期限は、軽自動車届出済証の届出年月日により次のように定められています。この期限内に検査を受けないと使用できなくなりますので、なるべく早目に受けて下さい。

届出年月日	検査期限
昭和41年12月31日以前	昭和48年10月31日まで
昭和42年1月1日から昭和42年12月31日まで	昭和48年11月31日まで
昭和43年1月1日から昭和43年12月31日まで	昭和48年12月31日まで
昭和44年1月1日から昭和44年12月31日まで	昭和49年1月31日まで
昭和45年1月1日から昭和45年12月31日まで	昭和49年2月31日まで
昭和46年1月1日から昭和46年12月31日まで	昭和49年3月31日まで
昭和47年1月1日から昭和47年12月31日まで	昭和49年4月31日まで
昭和48年1月1日から昭和48年12月31日まで	昭和49年5月31日まで
昭和49年1月1日から昭和49年12月31日まで	昭和49年6月31日まで
昭和50年1月1日から昭和50年12月31日まで	昭和49年7月31日まで
昭和51年1月1日から昭和51年12月31日まで	昭和49年8月31日まで
昭和52年1月1日から昭和52年12月31日まで	昭和49年9月31日まで
昭和53年1月1日から昭和53年12月31日まで	昭和49年10月31日まで
昭和54年1月1日から昭和54年12月31日まで	昭和49年11月31日まで
昭和55年1月1日から昭和55年12月31日まで	昭和49年12月31日まで
昭和56年1月1日から昭和56年12月31日まで	昭和50年1月31日まで
昭和57年1月1日から昭和57年12月31日まで	昭和50年2月31日まで
昭和58年1月1日から昭和58年12月31日まで	昭和50年3月31日まで
昭和59年1月1日から昭和59年12月31日まで	昭和50年4月31日まで
昭和60年1月1日から昭和60年12月31日まで	昭和50年5月31日まで
昭和61年1月1日から昭和61年12月31日まで	昭和50年6月31日まで
昭和62年1月1日から昭和62年12月31日まで	昭和50年7月31日まで
昭和63年1月1日から昭和63年12月31日まで	昭和50年8月31日まで
昭和64年1月1日から昭和64年12月31日まで	昭和50年9月31日まで

◎検査を受けると検査標章(ステッカー)と検査証が交付されますので検査標章は前面ガラスの中央上部に貼って下さい。また検査証は、自動車に備えて下さい。

◎検査を受けるときは、次のものが必要になります。

現在ナンバーをつけて使用している車	新しくナンバーをつけて使用する車
<ul style="list-style-type: none"> 新規検査申請書 軽自動車届出済証 保安基準適合証(民間車検査を受けた場合) 保険証明書(保険期間が2年をこえるもの) 印鑑 検査手数料600円(民間車検査を受けた場合は400円) 	<ul style="list-style-type: none"> 新規検査申請書 完成検査終了証(型式指定の新車) 完成検査終了証(型式指定の新車)を証明する譲渡証明書等 使用者の住所を証明する住民票等 保険証明書 重量税納付書(新車7,500円)または非課税証明書(中古車) 印鑑 検査手数料600円(型式指定の新車は400円)

所得税の青色申告をするに、青色申告をしない人よりも、税金が少なくて済みます。そのうえ、青色申告をすれば、青色申告をしない人の税金は約二万六〇〇〇円、青色申告をしない人の税金は約七万七〇〇〇円、青色申告をしない人も安く納税出来ます。

また、所得税だけでなく住民税や事業税も安く納税出来ます。青色申告をすれば、住民税や事業税も安く納税出来ます。青色申告をすれば、住民税や事業税も安く納税出来ます。

今年も又全国一斉に行政相談週間が十月十四日より二十日迄実施されます。本村に於いても週中の十月十六日午前九時から午後三時迄天仙閣に於いて合同相談を実施いたします。行政に対する苦情や相談、意見があるが関係の役所には申し出にくいとか、どこへ申し出たらいいかわからない、という方は気軽に申し出て下さい。

営庶業のかたへ

巻 税 務 署

青色申告のおすすめ
所得税の青色申告は、毎日の取引を記録し、正確に所得や税額を申告するに有利な取扱いをすることになっています。そこで、まだ青色申告をしていない人が、青色申告の一般的な特長と手続きを簡単に説明いたします。

①青色申告の特典
(青色申告の特典)
①青色申告の特典(通常一〇%)
②貸倒引当金の合算額(五%)
③金銭債権(三・三%)

行政相談で扱うものは、国の役所の仕事をはじめとして、国鉄、電気公社、専売公社、公団、公庫などの仕事についての苦情などです。

行政相談で扱うものは、国の役所の仕事をはじめとして、国鉄、電気公社、専売公社、公団、公庫などの仕事についての苦情などです。

うぶごえ (8月中届出)

なまえ	生年月日	保護者	住所
竹内麻里子	48.7.26	孝一郎	称名
小林奈津子	48.7.29	澄夫	島方
河合 知子	48.8.4	清志	大原
斎藤 理奈	48.8.10	進	番屋
若林 陽子	48.8.15	仁	横戸
坂井由美子	48.8.20	正直	五之上

おくやみ (8月中届出)

なまえ	なぐらなれた日	年令	住所
樋口 トラ	48.8.11	65	今井
新木 ヨキ	48.3.11	70	井随
小林清三郎	48.8.13	67	島方
本間 藤吉	48.8.20	83	島方

④価格変動準備金(通常年末に卸高の三割までの金額)
⑤みなし法人課税(青色申告をしていない人の所得税に同じ課税方法を選択することが出来ます。この方法を選択すると、事業主が事業から受ける報酬は事業所得ではなく、給与所得として認められます。)